



Title	カルチュラル・スタディーズの理論と実践(1) 目次
Author(s)	
Citation	言語文化共同研究プロジェクト. 2001, 2000
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/77291
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

目 次

第1部 コミュニティー形成における諸問題

森 祐 司	コミュニティー意識について	3
伊 勢 芳 夫	暴走する「国体」と生き残った文化システム	15
里 内 克 巳	リチャード・チェイスのもうひとつの顔 ——冷戦の時代とアメリカン・ロマンス論争——	23
山 田 雄 三	エレファントマンを表象＝代弁した知識人 ——ジョゼフ・ケアリー・メリックは語ったか——	35

第2部 現代メディアと文化

小 池 隆 太	象徴交換としてのポケット・モンスター	49
竹 山 直 子	美容整形にまつわる欧米志向について ——女性ファッション誌『an・an』の広告を中心に—— ...	59

第3部 先住民文化とポストコロニアル文学

小 杉 世	ニュージーランドにおけるポストコロニアル主体の形成 ——アルファベットの外縁を求めて——	73
室 淳 子	アメリカ先住民文化と児童文学——Louise Erdrich の <i>The Birchbark House</i> を読む——	87
松 木 園 久子	ガンジー時代の民衆——ヒンディー語小説 <i>Balcanma</i> と 英語小説 <i>Waiting for the Mahatma</i> をめぐって——	95
木 村 茂 雄	ポストコロニアル文学はどこから来たか？ ——帝国の眼とキプリングの眼——	107